

エマージング・カレンシー・債券ファンド(毎月分配型) 第114期分配金に関するお知らせ

平素は、「エマージング・カレンシー・債券ファンド(毎月分配型)」をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
この度、当ファンドは、2015年12月24日に第114期決算期末を迎えました。当期の収益分配金につきましては、15円(1万口当たり、課税前、以下同じ)と致しましたことをご報告申し上げます。

【第114期分配金と基準価額】(2015年12月24日)

分配金額 (1万口当たり、課税前)	15円
基準価額	4,486円

分配金額は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

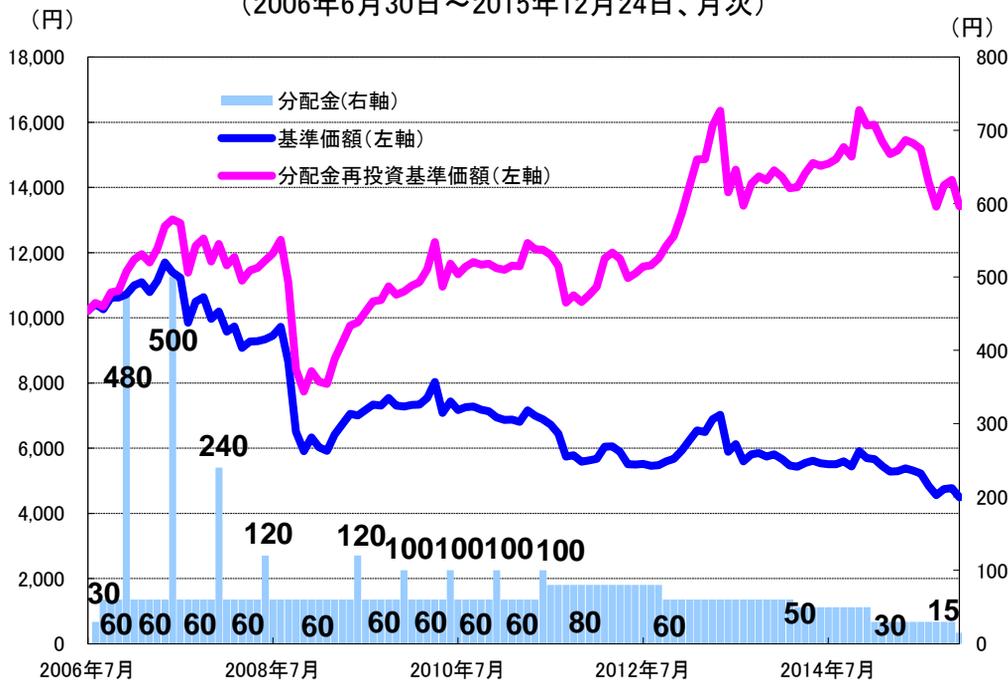
第114期決算において収益分配金を従来の30円から15円へ引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配金対象額の状況、基準価額的水準と市況動向などを総合的に勘案した結果によるものです。

一方、設定来の分配金の累計では、7,895円(課税前)となっており、これにより、当期末の分配金再投資基準価額は13,419円で設定来騰落率は34.19%となっております。

今後とも運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざして参りますので、引き続きお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【基準価額と分配金の推移】

(2006年6月30日～2015年12月24日、月次)



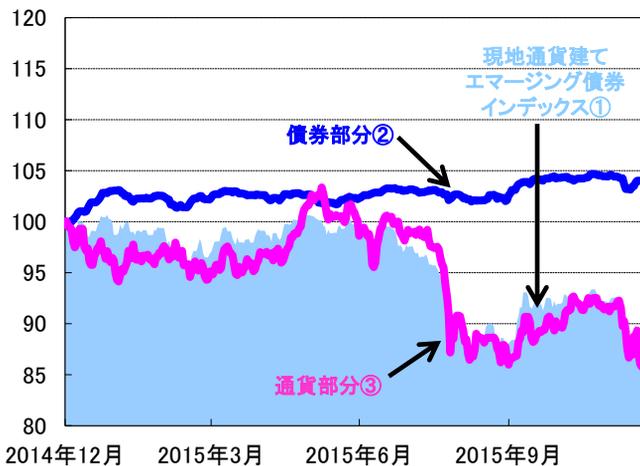
- * 基準価額は、信託報酬控除後の値です。
- * 投資先ファンドの運用管理費用を含めた実質的な信託報酬率は、純資産総額に対して年率1.988%程度(概算、税込)です。詳細は、【お申込みメモ】の【信託財産で間接的にご負担いただく費用】の項目をご覧ください。
- * 分配金再投資基準価額とは、基準価額に収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものです。
- * 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- * 第1期決算日には約款の条項により収益の分配は行いませんでした。
- * 分配金は増減したり支払われない場合があります。
- * 上記の各決算期における分配可能原資は分配金支払い後、1万口当たりのものです。

Q1 足元のエマージング市場概況について教えてください。

A1 足元のエマージング市場概況については、以下の通りです。

※ 投資先ファンドの運用会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント(以下、「ブルーベイ」といいます。)のコメントをもとに作成しています。

【現地通貨建てエマージング債券市況】
(2014年12月末～2015年12月22日、日次)



債券につきましては、エマージング国を取り巻く悪材料にも関わらず、主要先進国、特に欧州の金利が低下し、利回りへの投資家の需要が高まったため、エマージング債券は比較的堅調に推移しました。

一方、通貨につきましては、中国の株式市場の急落、商品市況の下落、それに伴う世界経済成長への懸念といったマクロ要因が全般的に投資家心理の重石となりました。地域別に見ると、8月11日から実施された中国人民元の切り下げがアジア通貨の下落を招き、欧米の金融政策の方向性の違いから生まれたユーロ安米ドル高基調により東欧通貨が弱含む傾向が見られました。また、資源輸出国が多い中南米や中東アフリカ地域の通貨も下落しました。

※2014年12月末を100として指数化

①はJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(円ベース)

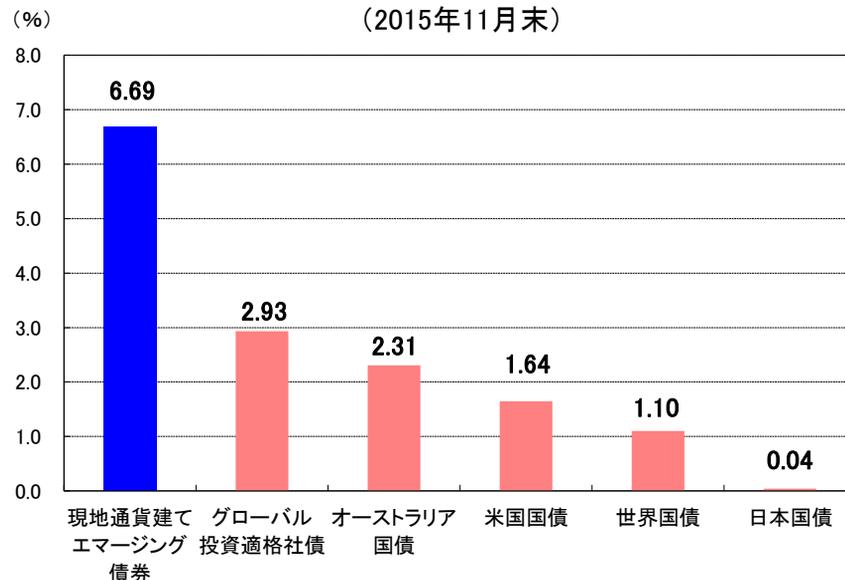
②はJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(現地通貨ベース)

③は①のリターンから②のリターンを差し引いて計算

Q2 分配金を引き下げたのは、今後の運用に期待できないということですか？

A2 分配金を引き下げましたが、引き続きエマージング債券の投資魅力は高いものと考えております。

【主要債券の利回り比較※】
(2015年11月末)



今回の分配金の引き下げは、現在の配当等収益および分配金対象額の状況、基準価額の水準と市況動向などを総合的に勘案したためであり、将来の運用成果を示すものではありません。

一方、エマージング債券の投資魅力を考えますと、世界的には金利が依然として低水準にあり、今後についても金利が急速に上昇する可能性は低いと考えています。

このため、現地通貨建てエマージング債券は、他の債券と比較すると相対的な利回りが高く、引き続き投資対象として魅力的であると考えています。

※「現地通貨建てエマージング債券」はJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド、「グローバル投資適格社債」はBofAメリルリンチ・グローバル・コーポレート・インデックス、「世界国債」はシティ世界国債インデックス(日本を含む)、オーストラリア国債、米国国債、日本国債はジェネリック5年債利回り

出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

巻末の「投資リスク」、および「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

Q3 現地通貨建てエマージング債券市場の今後の見通しと運用方針について教えてください。

A3 今後の見通しと運用方針につきましては、以下のとおりです。

※ 投資先ファンドの運用会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント(以下、「ブルーベイ」といいます。)のコメントをもとに作成しています。

米国の利上げが市場で概ね織り込まれている中、その影響を懸念しすぎる必要はないと考えています。一方で、石油輸出国機構(OPEC)総会において、現状の生産量を維持すると発表したことから、原油価格の下落が続いており、引き続き注視することが必要です。ただし、全てのエマージング国が資源輸出国ではなく、例えばインドやトルコなどの純輸入国では原油価格の下落による恩恵を受けます。

中国では、11月の貿易統計で輸出が前年同月比で3.7%減少しました。これは中国が輸出主導型経済から内需主導型経済に移行している段階であると見ています。中国経済の成長モデルの変化が、エマージング市場に影響を与えていますが、中国政策当局の金融緩和政策などもあり、中国経済に対する悲観的な見方は後退してきました。一方で、中国との取引相手国にとっては、中国経済の変化にどの程度迅速に対応出来るかが、大きなポイントになってくると見ています。

また、ブラジルなど特定の国でのネガティブな話題もある一方で、メキシコやインドといった積極的に構造改革に取り組んでいる国もあり、2016年のエマージング市場は投資国の選定がさらに重要になると考えています。

中長期的には、エマージング国の経済成長が先進国の経済成長を上回り、先進国との経済成長の差が広がることで、エマージング市場は恩恵を受けると考えています。通貨をはじめとしたエマージング資産は大幅な下落に見舞われましたが、**エマージング国の経済成長に安定もしくは上向く兆しが見られることから、エマージング市場に対する弱気な見方が終わりに近づいているとブルーベイでは前向きに捉えています。**

＜当ファンドの特色＞

■ファンド・オブ・ファンズの形式により、主に投資信託証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ルクセンブルグ籍オープン・エンド型の米ドル建て外国投資法人である「SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラス L」投資証券および証券投資信託である「SIM ショートターム・マザー・ファンド」受益証券を主な投資対象とします。

■投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。

■毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を行います。

■当ファンドの外貨建て資産につきましては、為替ヘッジを原則として行いません。

■当ファンドの主要投資対象である現地通貨建てエマージング債券に投資するファンドは、ブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーが運用します。

※ 資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

※ ファンドの分配は委託会社の判断により金額が増減したり、行なわれない場合もあります。

※ 分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。



※投資対象の外国投資信託のインデックスは、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド (米ドル建て:為替ヘッジなし)

<収益分配金に関する留意事項>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

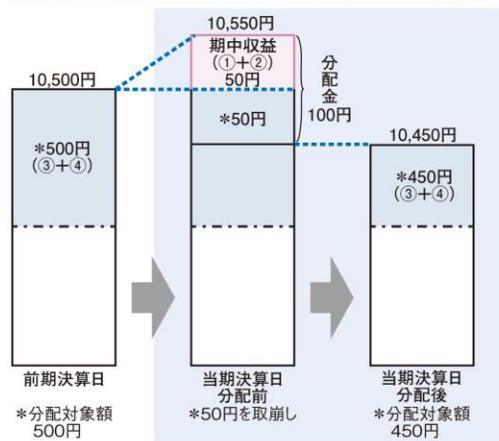
投資信託で分配金が支払われるイメージ



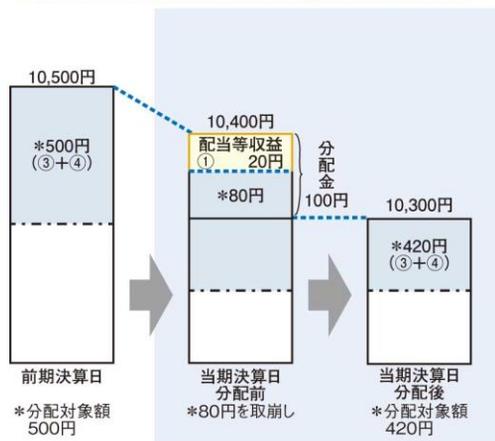
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金…個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金…個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少(特別分配金)します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に、0.5%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、7営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
申込締切時間	午後3時まで、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
換金制限	大口の換金には制限を行う場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消	金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限とします(2006年6月30日設定)。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則として、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年12回の決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される(「自動けいぞく投資コース」)があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託金の限度額	5,000億円を上限とします。
公 告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年5月および11月の決算時および償還時に運用報告書(交付運用報告書を作成している場合は交付運用報告書を作成し、知っている受益者に対して交付します)。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。 ● ルクセンブルグの銀行休業日 ● ロンドンの銀行休業日 ● ニューヨークの銀行休業日

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

●お客さまが直接的にご負担いただく費用(消費税率が8%の場合)

購入時手数料	購入価額に 3.78%(税抜3.5%) を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	当ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続き等の対価です。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。	

●お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用(消費税率が8%の場合)

運用管理費用 (信託報酬) (括弧内数字は税抜)	当ファンドの運用 管理費用・年率 (信託報酬)	1.188% (1.10%)	信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率 日々のファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じて得た額とし、 毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	(委託会社)	0.3996% (0.37%)	委託した資金の運用の対価です。
	(販売会社)	0.7560% (0.70%)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価です。
	(受託会社)	0.0324% (0.03%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする 投資信託証券・年率	0.80%	投資運用等の対価です。
実質的な負担・年率		1.988%程度(税込)	
その他の費用・ 手数料	当ファンド	財務諸表監査に関する 費用	監査に係る手数料等(年額105万円および消費税) 監査費用が日々計上され毎計算期末または信託終了の 時にファンドから監査法人に支払われます。
		信託事務の処理に要 する諸費用等	法定書類等の作成費用、法律・税務顧問への報酬等 日々計上され毎計算期末または信託終了の時にファンド から支払われます。ただし、ファンドの純資産総額に対 して年率0.10%(税込)を上限とします。
	投資先ファンド	組入有価証券等の売買 の際に発生する取引手 数料	組入有価証券等の売買の際、発注先証券会社等に支 払う手数料等です。
		保管報酬、事務代行報 酬、登録および名義書 替代行報酬等	保管および事務代行ならびに資産管理等に対する 対価です。 投資先ファンドの純資産総額に対して年率0.30%を 上限とします。
		運営および一般管理費	法律顧問報酬、監査報酬、法定書類の作成費、ルクセ ンブルグ税等です。

※ その他の費用手数料につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ 当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社 新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等)
03-6880-6448(受付時間:営業日の午前9時~17時)
ホームページアドレス:http://www.shinsei-investment.com/
登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 協会会員番号 第011-01067号

受託会社 株式会社りそな銀行(信託財産の管理等)
販売会社 (募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2015年12月24日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社 (「ダイレクトコース」及び「投信つみたてプラン」 でのお取扱いとなります。)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
おきなわ証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
上光証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第175号	○			
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

【投資リスク】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがありますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、外貨建て資産に投資した場合、為替変動リスクも加わります。したがって、ファンドにおける投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。ファンドのリスクは下記に限定されるものではありません。

《主な基準価額の変動要因》**1.価格変動リスク(金利変動リスク)**

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

また当ファンドは、先進国の債券に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域の公社債を実質的な投資対象としますが、そうした公社債の価格は大きく変動することがあります。さらに流動性が低いため、想定する債券価格と乖離した価格で取引しなければならない場合などがあり、そうしたことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2.為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域を実質的な投資対象としますが、そうした国・地域の為替相場は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する為替レートと乖離したレートで取引を行わなければならない場合などがあり、それらのことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

3.カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は、先進国と比較して、一般的には経済基盤が脆弱であるため、経済状況等の悪化の影響が大きくなり、そのため金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。また政治不安などが金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。先進国と比較し、経済状況が大きく変動する可能性が高く、外部評価の悪化や経済危機等が起こりやすいリスクもあります。さらに大きな政策転換、規制の強化、政治体制の大きな変化、テロ事件などの非常事態により、金融商品市場や外国為替市場が著しい悪影響を被る可能性があります。自然災害の影響も大きく、より大きなカントリー・リスクを伴います。

4.信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額が影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は先進国に比べ、発行者の経営・財務状況の急激な悪化や経営不安・破綻が起こりやすいリスクがあります。

5.その他

●ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

●金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は、受付を中止することやあるいは既に受付けた注文を取消すことがありますのでご注意ください。

●投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保障するものではありません。
- ファンドは、実質的に株式など値動きのある資産(また外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、市場環境等により基準価額は変動します。したがって元金保証および利回り保証のいずれもなく、運用実績によっては投資元本を割込むおそれがあります。
- ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。
- お申込の際には、あらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)をお受取りいただき、必ず内容をご理解のうえ、お客様ご自身でご判断ください。
- 投資信託は預金や保険とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、元本や利回りの保証はありません。
- 販売会社が銀行等の登録金融機関の場合、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託のお申込に時には購入手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。